

1. 科目名 (単位数)	日本語学演習Ⅲ (談話) (2 単位)	3. 科目番号	EJJP3326
2. 授業担当教員	村松 喜久子		
4. 授業形態	講義、演習、グループ討議等	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	日本語学Ⅴ (談話)		
7. 講義概要	日本語学Ⅴで学んだことを踏まえ、日本語教育で文章・談話がどのように用いられているか考える。文章や談話の構造について接続表現、指示表現、比喩表現などについて学びながら、それらが日本語教育でどのように扱われているか調べていく。また、会話において接続表現や指示表現、提題表現などがどのように扱われているか理解する。		
8. 学習目標	1. 日本語の構造の中で、接続表現、指示表現、提題表現等がどのように扱われているか分析できる。 2. 会話において接続表現や指示表現、提題表現などがどのように扱われ、談話として取り入れられているか理解する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	ワークシートや課題は期限内に提出すること。 課題 会話を考えるプリントを予習として提出し、それぞれのテーマにおける日本語会話の特徴を考える。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】プリントを使用 【参考書】根本総子・宮谷敦美『聞いて覚える話し方日本語生中継』くろしお出版、2011。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 日本語の構造の中で、接続表現、指示表現、提題表現等がどのように扱われているか分析できたか。 2. 会話において接続表現や指示表現、提題表現などがどのように扱われ、談話として取り入れられているか理解できたか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する。 1 授業への参加態度・総合点の 30% 2 試験 (小テスト、期末テスト等) 総合点の 30% 3 提出課題 (レポート等) 総合点の 40% 上記の他に、本学の規定に定められている 3/4 以上の出席が単位の修得の条件である。		
12. 受講生へのメッセージ	日本語の会話の特徴を知り、「会話指導」に役立てられるようにするために、自分自身の会話について再考していこう。		
13. オフィスアワー	初回授業時に知らせる。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	授業概要、伝言についてのグループワーク	事前学習	伝言に使用する語彙を考える。
		事後学習	伝言の表現をまとめる。
第 2 回	勧誘表現についてのグループワーク	事前学習	勧誘表現を考え提出する。
		事後学習	勧誘表現について発表原稿を用意する。
第 3 回	勧誘表現についての発表	事前学習	勧誘に対して考えた会話の発表準備をする。
		事後学習	勧誘表現についてまとめ提出する。
第 4 回	許可表現についてのグループワーク	事前学習	許可表現について発表原稿を用意する。
		事後学習	許可に対して考えた会話の発表準備をする。
第 5 回	許可表現についての発表	事前学習	許可表現について会話の発表準備をする。
		事後学習	許可表現についてまとめ提出する。
第 6 回	情報を伝える表現についてのグループワーク	事前学習	情報表現について発表原稿を用意する。
		事後学習	情報に対して考えた会話の発表準備をする。
第 7 回	情報を伝える表現についての発表	事前学習	情報表現について会話の発表準備をする。
		事後学習	情報表現についてまとめ提出する。
第 8 回	依頼の表現についてのグループワーク	事前学習	依頼表現を考え提出する。
		事後学習	依頼表現について発表原稿を用意する。

第9回	依頼の表現についての発表	事前学習	依頼に対して考えた会話の発表準備をする。
		事後学習	依頼表現についてまとめ提出する。
第10回	文句表現についてのグループワーク	事前学習	文句表現を考え提出する。
		事後学習	文句表現について発表原稿を用意する。
第11回	文句表現についての発表	事前学習	文句に対して考えた会話の発表準備をする。
		事後学習	文句表現についてまとめ提出する。
第12回	提案表現についてのグループワーク	事前学習	提案表現を考え提出する。
		事後学習	提案表現について発表原稿を用意する。
第13回	提案表現についての発表	事前学習	提案に対して考えた会話の発表準備をする。
		事後学習	提案表現についてまとめ提出する。
第14回	感想についてのグループワーク	事前学習	感想表現を考え提出する。
		事後学習	感想表現について発表原稿を用意する。
第15回	感想表現についての発表	事前学習	発表やディスカッションを振り返る。
		事後学習	発表の評価を行う。